

2022年度 事業報告書

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

1 事業の成果

2012年10月10日の開館以降、2023年3月31日時点で延べ75,203名が訪れている。
2022年度は、5,634名にご来館いただいた。

中村元記念館開館10周年を迎えた2022年度は、年間を通じて4つの企画展をはじめ特別講座や講演会、関連イベントを行い、前年度比138%の来館者数を達成した。

また10周年記念事業として実施した閲覧室拡張、研修室改装など記念館の内外設備が充実したことにより利用者の利便性が向上したことも来館者増加につながった。

開館10周年記念事業の詳細については別紙のとおりである。

中でも、インド総領事館との連携による共催事業の開催などにより、中村元博士の愛したインド国とのつながりがこれまで以上に強固になったことは特筆に値する。

そのほか、島根大学との連携による企画展の開催、山陰インド協会やしまね文化振興財団のご協力による写真展の開催など、外部機関と協力しながら事業を遂行した。

松江市からの受託事業である中村博士の蔵書整理事業については、3,285点の資料を登録。通算登録数は26,523冊となった。

また、蔵書以外の資料(日記、原稿、メモ、写真、書簡など)についても昨年度、独自に開発したソフトウェアを使い、一般の博物館の資料登録方法に加え、中村元博士独自の資料分類などについて調査を進め、丁寧に登録作業を行った。蔵書以外の資料の適切な保存・管理方法については、専門家の指導を仰ぎながら作業を行った。

新型コロナウイルス感染症リスクが軽減したこともあり、近隣の小・中学校との交流も再開した。学芸員による出張講座の開催や、中村元記念館講座の講師の協力を得ながら、子供たちに東洋の文化に触れていただく授業を行なった。

2 事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施事業の 日時・場所、 従事者の人数 | 受益対象者 の範囲 及び、人 数、評価 | 事業費の 金額 (単位：千円) |
|-------------------------------|---|---------------------------|------------------------------|-----------------------|
| 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営 | 1. 中村元博士蔵書整理事業 2. 中村元記念館管理・運営 | | 別紙参照 | 15,847 |
| 東洋思想・文化に係る研究、講座、イベントなどの実施 | 1. 中村元記念館各種講座の運営 2. 研究員による研究活動 3. 企画展 4. 中村元東洋思想文化賞 5. 大学連携事業 | | 別紙参照 | 6,679 |
| 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業 | 1. 出版事業 2. 博物館/施設との連携 3. メディア対応 4. その他広報活動 5. ミュージアムショップ運営 | | 別紙参照 | 905 |
| 国際文化交流事業 | 1. アジア文化紹介事業 | | 別紙参照 | 260 |
| 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業 | 1. 地域・行政との交流事業 2. 子ども教育事業 3. 旧八束教員住宅(通称)「はじめハウス」の利活用 | | 別紙参照 | 448 |

3 会議に関する事項

(1) 理事会

◆第1回 理事会（開催年月日 2022年5月22日）

開催場所 中村元記念館 応接室

出席者数 14名（うち表決委任者 11名）／ 理事人数 14名

議決事項の概要

第1号議案 2021年度 事業報告に関する件

第2号議案 2021年度 決算報告 および 監査報告に関する件

第3号議案 2022年度 事業計画に関する件

第4号議案 2022年度 予算に関する件

第5号議案 役員報酬支給額について

第6号議案 中村元記念館開館10周年記念事業について

その他 報告事項

(2) 総会

◆総会（開催年月日 2022年 5月27日）

開催場所 中村元記念館 応接室

出席者数 18名（うち表決委任者 14名）／正会員数 19名

議決事項の概要

第1号議案 2021年度 事業報告に関する件

第2号議案 2021年度 決算報告 および 監査報告に関する件

第3号議案 2022年度 事業計画に関する件

第4号議案 2022年度 予算に関する件

第5号議案 役員報酬支給額について

第6号議案 中村元記念館開館10周年記念事業について

その他 報告事項

特定非営利活動法人

中村元記念館東洋思想文化研究所

2022年度 事業報告書



中村元記念館


Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकासुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

内容

| | |
|-----------------------------------|----|
| ▽2022年度 事業報告 | 1 |
| Ⅰ 入館者数 | 1 |
| Ⅱ 個別事業報告 | 2 |
| (1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営 | 2 |
| (2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施 | 3 |
| (3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業 | 7 |
| (4) 国際文化交流事業 | 9 |
| (5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業 | 10 |

I 入館者数

2012年10月10日の開館以降、2023年3月31日時点で延べ75,203名が訪れている。

2022年度は、5,634名にご来館いただいた。

開館10周年事業として、特別企画展の開催や、関連イベントを行い、メディアに取り上げていただく機会も増加し集客につながった。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として行っている全館消毒作業のため暫定的に減緩時間を繰り上げていたが、対策は今後も引き続き行うこととなるため、2月より、開館時間を30分前倒し、9:30~17:00に変更した。

オンラインによる講義は受講生にも浸透し、一部の講義ではハイブリッド方式の講義も行っている。今後もこの講義方式を継続していきたい。(なお、オンラインでの講義、イベント参加者は入館者数に含めていない)。

月別入館者数

| 月 | 2022年度 入館者数(人) | 2023年度 入館者数 (人) | 対前年比(%) |
|-----|-------------------|-----------------------|---------|
| 4月 | 376 | 418 | 111 |
| 5月 | 568 | 580 | 102 |
| 6月 | 546 | 472 | 86 |
| 7月 | 348 | 333 | 96 |
| 8月 | 396 | 367 | 93 |
| 9月 | 371 | 468 | 126 |
| 10月 | 570 | 834 | 146 |
| 11月 | 475 | 760 | 160 |
| 12月 | 440 | 397 | 90 |
| 1月 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 0 | 375 | 0 |
| 3月 | 0 | 630 | 0 |
| 合計 | 4,090 | 5634 | 138 |
| 月平均 | 341 | 470 | |
| 累計 | 69,569 | 75203 | |

II 個別事業報告

(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)

| | |
|-------|--|
| 事業の目的 | 松江市から委託された中村元博士の蔵書を整理・公開することで、松江市の歴史的財産として保存するとともに、研究者の利用のみならず、一般の来館者の皆様にも広く観覧していただく。 |
| 実施期間 | 通年 |
| 実施人数 | 職員:6名、ボランティア のべ41名 |
| 事業内容 | <p>■蔵書整理・登録</p> <ul style="list-style-type: none">・2014年度に導入した図書管理ソフト GANGA とNACSIS接続ソフト MILAGRO により、国立情報学研究所が運営する総合目録データベース (NACSIS-CAT) を利用し、自館と NACSIS-CAT への登録を実施。・2022年度は、図書 1,245冊、雑誌 2,040冊、合計 3,285冊の登録を完了した。(通算登録冊数:26,523冊)。 <p>■蔵書の公開</p> <ul style="list-style-type: none">・記念館の OPAC(オンライン蔵書検索システム)登録による公開と、常設展示、企画展等で順次公開。・登録作業が進む中、連携大学をはじめとした全国の大学、研究員、一般の方からの閲覧申請があり、資料を有意義に利用していただくことができた。今後このような問い合わせが増加することが考えられるため、登録・整理作業をしっかりと進めていきたい。 <p>■資料登録・整理作業</p> <ul style="list-style-type: none">・2023年度以降の登録資料(書籍)は、膨大な紙の資料(原稿などの束)の間に挟まっているものが多くなることが予想される。 <p>これまでのデータ登録結果からもわかるとおり、中村元博士の資料は、通常の図書分類ではなく、博士独自の分類方法によって配置されており、その保存場所に大きな意味がある。したがって、登録書籍を抜き出す場合にも細心の注意を払う必要があり、その前後に位置する資料との関連性についても記録しながら登録を進めていくことになるため、これまでより時間がかかることが予想される。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>・令和3年度に開発した資料登録のためのソフトウェアを使い、蔵書登録に加えて、中村元博士独自の資料分類などについても正確に記録を行いながら、一つ一つ丁寧に登録作業をすすめていきたい。</p> <p>・図書以外の資料(日記、原稿、メモ、写真、書簡など)については、資料の劣化が進んでいるものがあり、早急に対策が必要なものも多数ある。 資料保存の専門家の指導を仰ぎながら、安全な資料保管のための策を講じていきたい。</p> |
|--|---|

2. 中村元記念館管理・運営事業

| | |
|--------------|--|
| 事業の目的 | 中村元博士の業績を広く一般の人に顕彰する。 記念館運営を滞りなく行うための事業。 |
| 実施期間 | 通年 |
| 実施人数 | 職員・スタッフ:7名(通年) |
| 事業内容 | <p>■団体見学 6回 参加人数 96名(学芸員解説) 2022年度はコロナウイルス感染が収まってきたため、団体見学を再開。 市内の公民館や仏教会等の団体への館内説明を行った。 また、上記以外に9月29日から11月30日にかけて開催した 中村元記念館開館10周年・中村元博士生誕110年「並河萬里 写真展 巡礼～中村元の旅路を辿る～」では、オープニングセレモニーの後に関係者・来場者に展示解説を行った。</p> <p>■研修参加 「インボイス制度導入に備える！」9月26日(月)14:00～ オンライン参加(スタッフ1名、理事長)</p> <p>■消防・避難訓練 第1回 9月22日(合同避難訓練)職員 4名参加 第2回 2023年3月1日 消火設備訓練 7名参加</p> |

(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)

| | |
|--------------|---|
| 事業の目的 | 「東洋思想の世界的権威」である中村元博士の私塾「東方学院」の理念を継承すべく「東方学院松江校」・「中村元記念館文化講座」を開講する |
|--------------|---|

| | |
|-------------|--|
| 実施期間 | 2022年4月1日～2023年3月31日 |
| 実施人数 | 職員:5名(通年) 講師:23名 |
| 事業内容 | <p>■今年度の講義は当初東方学院松江校、中村元記念館文化講座を合わせて25講座を開催した。*のべ受講申込者数:179名 (開催講座数) (講義回数減の講義も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方学院松江校 17 講座 ・中村元記念館文化講座 8 講座 <p>■オンライン講座 高齢者のオンライン受講については、事前にZOOMの研修を個別に行うなど丁寧に対応した。また、いくつかの対面方式の講座をハイブリッド形式に変更したことで、遠方の方や、近隣の方、ウイルスの感染が心配な方等にも受講いただくことができた。 今後も、対面受講・オンライン受講の両方の方がストレスのない設備・環境を整えていきたいと考えている。</p> |

2. 研究員による研究活動

| | |
|--------------|--|
| 事業の目的 | 中村元記念館東洋思想文化研究所研究員:10名。 故中村元博士が開拓された学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的として、研究活動を行っている。 |
| 実施期間 | 通年 |
| 実施人数 | 研究員 10名 |
| 事業内容 | <p>■新研究員(出口 顯氏)の辞令交付式 2022年4月16日(土)</p> <p>■記念館通信への研究員による寄稿 1回</p> <p>■研究員による講演 2023年2月23日(木) 登壇者:笠原 愛古 ・『インド独立75周年・中村元記念館開館10周年 中村元博士生誕110年記念公演』第1部 講演</p> <p>■研究員による講座実施 7講座</p> <p>■研究員による書籍発行 ・『華表美談 宍道湖嫁島物語—田辺朔郎博士と松江—』 岡崎 秀紀(編著) 2022年4月1日</p> |

3. 企画展の開催

| | |
|--------------|--|
| 事業の目的 | 今年度は中村元記念館開館10周年・中村元博士生誕110年の記念イヤーとして、記念館所蔵の未公開の松江に関する資料の展示の他、公益財団法人しまね文化振興財団の所蔵の並河萬里写真展の開催、「はじめのはじまり」(中村元博士少年時代の作文集)の関連展示を島根大学附属図書館で行う等、他法人・企業のご協力のもと企画展を行った。 |
| 実施期間 | 下記のとおり |
| 実施人数 | 職員5名他 |

| | |
|-------------|---|
| 事業内容 | <p>* 「①、③は中村元記念館開館 10 周年記念事業</p> <p>①丸山勇「慈しみの心」写真展 期間：2022 年 4 月 16 日～8 月 31 日 来場者数 1,967 名</p> <p>②「中村元博士 少年時代の作文集刊行記念ミニ展示 中村元博士・はじめのはじまり」 期間：～2022 年 7 月 31 日</p> <p>③並河萬里写真展「巡礼～中村元の旅路を辿る」 期間：2022 年 9 月 29 日（木）～11 月 30 日（水） 共催：山陰インド協会 協力：公益財団法人しまね文化振興財団 後援：在大阪・神戸インド総領事館 松江市/松江市教育委員会/山陰中央新報社 来場者数 1,678 名</p> <p>④企画展「中村元博士と松江」 * 博士の故郷・松江とのつながりについての展示 期間：2023 年 3 月 1 日（水）～</p> |
|-------------|---|

4. 中村元東洋思想文化賞

| | |
|--------------|--|
| 事業の目的 | 連携大学を含む全国の国公立及び私立大学 100 校を対象に、大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し今後の研究を奨励することを目的とする |
| 実施期間 | 授賞式 2022 年 10 月 29 日 |
| 実施人数 | 職員 6 名、スタッフ 6 名、ボランティア 3 名ほか |
| 事業内容 | <p>東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文を表彰した。授賞式は松江市上定昭仁市長ご臨席の元、松江市長賞、奨励賞を授与し、賞状と盾、学術奨励金の他に記念品が贈られた(2021 年度に新型コロナウイルス感染拡大により審査を延期したため、2022 年度応募論文と一緒に審査し、授賞式を行った)。2022 年度は、中村元記念館開館 10 周年・中村元博士生誕 110 年の節目の年ということで、松江テルサホールで記念式典並びに第 7 回中村元東洋思想文化賞授賞式を行った。オンライン配信も行い、延べ 150 名の方が参加した。</p> <p>■松江市長賞 朱 奔(しゅ・えき)氏(一橋大学大学院) 「現代中国における伝統文化の教育と学習 —民間に見る文化としての仏教の実践—」</p> <p>■奨励賞 張 亮(ちょう・りょう)氏(龍谷大学) 「(主論文)『維摩経』の研究—「不二」(ad vaya) 思想を中心として</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>— (副論文)『維摩経』『入不二法門品』の梵・藏・漢訳の比較研究— 特に支謙訳の特質を中心として—</p> |
|--|--|

5. 大学連携事業

| | |
|--------------|--|
| 事業の目的 | インド哲学や仏教学を学べる大学や、近隣の大学、大学院と連携することで、高等教育の場で、記念館を活用していただくことを目的とする |
| 実施期間 | 下記の通り |
| 実施人数 | 職員 スタッフ 6 名ほか、連携大学ほか |
| 事業内容 | <p>■武蔵野大学 丸井 浩先生とその科研メンバーによる中村元記念館資料調査と、オンライン報告会の実施。 日程:2023 年3月9日</p> <p>■島根大学附属図書館との連携により企画展示を実施 (*中村元記念館開館 10 周年記念事業) 東洋思想の巨星 「はじめのはじまり～若き日の作文・日記より～」 場所：島根大学附属図書館 期間：2022 年 10 月 3 日 (月) ～10 月 31 日 (月) 来場者数 345 名</p> <p>■東京大学 (インド哲学仏教学研究室) 加藤先生 蔵書調査 日程:2023 年 11 月 10 日</p> <p>■連携大学の事業紹介を行った ポスター掲示、パンフレット、チラシの配架など</p> |
| 連携先 | 大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、東京大学(インド哲学仏教学研究室)、東洋大学、武蔵野大学、龍谷大学、大谷大学 |

(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業

1. 出版事業

| | |
|---------|--|
| 事業の目的 | 中村元博士の業績やその理念を広く顕彰する |
| 実施期間・人数 | 通年 職員 5 名 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 中村元記念館公式ガイドブック『インド哲学・仏教学者 中村元 学びと慈愛』（A4 版 56 ページ）を出版し、県内の図書館に寄贈した。 ■ 「慈しみの心」山陰中央新報社 編集協力 ■ 中村元記念館通信発行 第16号発行 |

2. 博物館/施設との連携

| | |
|---------|---|
| 事業の目的 | 広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進 |
| 実施期間・人数 | 通年 職員 5 名 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 連携協定を結んでいる「史跡足利学校」ほか、石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎記念哲学館」をはじめ、古代出雲歴史博物館など近隣の博物館や美術館などとはパンフレット・ポスターの掲示など広報についての連携を継続中。 |

3. メディア対応

| | |
|---------|--|
| 事業の目的 | 中村元博士、記念館の紹介、博士の業績の顕彰などのため、各種媒体、メディアへの取材対応、記事掲載依頼を行った |
| 実施期間・人数 | 通年 職員・スタッフ 8 名 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ①新聞記事掲載（「慈しみの心」） <ul style="list-style-type: none"> ・山陰中央新報「第 1 面 「慈しみの心」毎日掲載 ②新聞記事掲載 <ul style="list-style-type: none"> 【山陰中央新報】 <ul style="list-style-type: none"> ・「慈しみの心」除く新聞記事掲載 ・山陰中央新報 情報 BOX 企画展・イベント情報掲載 ・りびえーる（山陰中央新報）企画展情報掲載 ・中村元氏 若き日の感性 学生時代の日記・作文集 「はじめのはじまり」（2022/4/7） ・「中村元 慈しみの心」発刊（2022/4/12） ・中村元氏知る作文集 記念館が松江市に贈る（2022/4/13） ・中村元記念館 10 周年松江記念講演会など予定（2022/4/17） 【中国新聞】 <ul style="list-style-type: none"> ・中村元氏の足跡たどる松江で写真展交流の並河氏撮影 |

| | |
|--|---|
| | <p>(2022/10/6)</p> <p>【文化時報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館 10 周年 (2023/1/1) <p>③八東公民館だより</p> <p>【八東のひろば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』を紹介します <p>⑦～⑨</p> <p>【八東公民館報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 25 号 (2022 年 4 月号)、第 26 号 (2022 年 8 月号)、第 27 号 (2022 年 12 月号) ・開館 10 周年を迎えて～八東町の皆様へ～ (文 中村元記念館スタッフ) ・八東のひろば第 26 号 (2022 年 8 月号) <p>④『湖都松江』第 45 号「特集 松江 知と美の館」(文執筆)</p> <p>⑤雑誌『東方』第 38 号 (2023/3/25) 263 ページ 書籍紹介 (文執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめのはじまり —中村元博士少年時代の作文集— ・中村元 慈しみの心 <p>⑥テレビ取材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松江市長へ作文集贈呈式 …【放映】4/12 7:45～NHK ニュース ・大谷先生講座「伝統芸道香道とは」取材 …【放映】5/13 18:00～マーブルテレビ ・並河万里写真展 イベント紹介 9/7 取材対応 …【放映】NHK ニュース ・並河万里写真展 オープニングイベント 9/29 取材対応 …【放映】マーブルテレビ ・中村元記念館開館 10 周年・中村元博士生誕110年記念式典 10/29 …【放映】マーブルテレビ ・インド古典舞踊・音楽イベント取材 …【放映】2/10 マーブルテレビ「まるまる松江」 ・ガネーシャ像 贈呈式… 【放映】2/24 マーブルテレビ |
|--|---|

4. その他広報活動

| | |
|---------|---|
| 事業の目的 | 中村元記念館及び東洋思想に興味を持っていただくため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやブログ、フェイスブック・Twitter など様々な媒体を通じて情報発信を行った |
| 実施期間・人数 | 通年 職員 5 名 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・記念館紹介パンフレットの配布 (約 300 部) ・ご支援のお願いのパンフレット配布 (約 1000 部) |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運営(講座・イベント情報等適宜発信中) ・メールマガジンの発行 No131～No149(17回)※144は欠番 ・フェイスブックの運営(34回更新) ・ブログの運営(29回更新) ・島根いきいき広場(1回:イベント情報掲載) ・Twitter 配信(28回) |
|--|--|

5. ミュージアムショップ運営

| | |
|----------------|---|
| 事業の目的 | <p>一般書店では手に入りにくい中村元博士の著作、東洋思想、仏教関連書籍など、専門書籍を幅広く取りそろえ、来館者の知へのニーズを満たす。</p> <p>記念館オリジナルのお土産品の提供による、来館者満足度の向上</p> |
| 実施期間・人数 | 通年 職員6名 |
| 販売グッズ | <p>哲学、東洋思想等、一般の書店にはない専門書籍を充実させた。</p> <p>出版社の協力もあり、現在、DVDなど映像資料なども併せると約400種に迫る品揃えとなっている。</p> <p>ポップや、陳列方法、新書を入荷した際は、SNS等で情報を発信する等購買意欲をそそるよう工夫した。</p> |

(4) 国際文化交流事業

1. アジア文化紹介事業

| | |
|----------------|--|
| 事業の目的 | <p>中村元記念館の認知度向上や、新規来館者の獲得を目的とし、広く一般の方を対象に中村元博士が研究されたアジア地域について紹介し、文化的な交流を促進する。山陰インド協会の協力を仰ぎ、インドとの交流を深める。</p> |
| 実施期間・人数 | 通年 職員6名 |
| 事業内容 | <p>(1) ぼたん祭ステージイベント 実施日:4月29日 ステージイベントとして、東方学院松江校講師 横山純子研究員所属の山陰日本アイルランド協会のアイルランド音楽グループ「キョールアガス クラック(Ceól agus Craic)」による演奏を行った。</p> <p>(2) 開館10周年記念リレー講座第一弾「ヨガと音楽の優雅な休日」 実施日:6月19日(日) ヨガ指導講師:山本紀子先生 シタール演奏:瀬古康雄先生 参加者:16名</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>(3)インド独立 75 周年・中村元記念館開館 10 周年 中村元博士生誕 110 年記念公演「悠久なる神々の世界～南インドの古典舞踊と音楽～」 実施日:2023 年 2 月 23 日</p> <p>(4)ガネーシャ像贈呈式 実施日:2023 年 2 月 24 日 インド総領事館より贈呈いただき、在大阪・神戸インド総領事 ニキレーシュ・ギリ様、松江市 能海広明副市長、山陰インド協会 会長 山陰中央新報社社長 松尾 倫男様ご臨席のもと除幕式を行った。</p> |
|--|---|

(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

1. 地域・行政との交流事業

| | |
|--------------|---|
| 事業の目的 | 行政、民間、地元八束町の要望に沿った交流事業を実施し、中村元と記念館を知っていただく契機とする。 |
| 事業内容 | <p>■第 10 回中村元記念館杯八束町、世代間交流 GG 大会の開催協力 実施日:6 月 8 日 八束町グラウンド・ゴルフ協会主催 スタッフ 1 名・副理事長</p> <p>■八束公民館 掲示板 中村元博士が遺した「慈しみあふれる言葉」紹介事業への協力</p> <p>■公民館だよりへの取材・執筆協力</p> <p>■島根半島。宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進校議会 ジオカード配布協力</p> |
| 連携先 | 八束公民館、松江北商工会、八束町内の自治会・松江観光協会など |

2. 子ども教育事業

| | |
|----------------|---|
| 事業の目的 | 中村博士の業績を知ること、郷土への誇りを持っていただく。博士の思想「慈しみ」の心にふれてもらうことで、小中学生の情操教育に役立てる。また、高校生・大学生にも自習室を解放し利用してもらう。 |
| 実施期間・人数 | 通年 職員 5 名 |

| | |
|-------------|---|
| 事業内容 | <p>① 中学生職場体験（2名） 実施日：9月28日、9月30日</p> <p>② 自習室の開放 記念館の静かな環境で、勉強や読書を行ってもらえるよう、小・中・高・大学生に自習室を解放した。図書閲覧室での自習利用多数</p> <p>③ さるすべりコーナーでの文化紹介本の設置 新型コロナウイルス感染防止対策のため、配架書籍の数を制限し、貸し出しリストを配置することで安全に読んでいただけるように対応した。</p> <p>④ 八束学園へ出張講座など (1) 中村元博士についてのお話と読み聞かせ 実施日：11月22日、11月29日、12月1日 博士と記念館についての説明と、博士が研究したインドのことを知ることができる児童書の読み聞かせを、記念館の学芸員が行った。 (2) 「アジアの音楽に親しもう みんなで楽しく楽器遊び」 実施日：2023年2月7日、2月13日、2月16日 協力：中村元記念館文化講座講師 瀬古 康雄先生 民族楽器（インドのシタール、中国の揚琴ヤンチン他）の音を聴いたり、実際に鳴らしてアジアの音楽、文化に親しめる授業を行った。</p> <p>⑤ 八束学園2年生 まちあるき授業 実施日：2023年3月17日 生徒29名 先生・コーディネーター3名</p> |
|-------------|---|

4. 旧八束教員住宅(通称「はじめハウス」)の利活用

| | |
|----------------|---|
| 事業の目的 | 中村元記念館および利用者の行う会議、研究、宿泊、イベントなどで活用することで、周辺地域の活性化を促進する。 |
| 実施期間・人数 | 通年 職員5名 |
| 事業内容 | ■新型コロナウイルス感染拡大のため、一般利用ができない間、蔵書整理のための作業場所として活用した。 |